

# HIGASHI OSAKA MIDORI R.C



SERVE TO CHANGE LIVES

CLUB WEEKLY

国際ロータリー 第2660地区  
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日  
会 長 北 井 孝 彦  
幹 事 表 孝 典  
会報委員長 井 上 善 博

2021-11-11 (第1006回)

## 今週のプログラム

《11月11日(木) 例会 KKR ホテル5階「瑞宝」》

◎卓 話 「邦文定款第4条への疑問について」  
山片重房君

♪本日の歌 「奉仕の理想」

## 来週の予定

《11月25日(木) 例会 KKR ホテル5階「瑞宝」》

◎卓 話 「PR例会招聘卓話」

## 先週の出席者

《11月04日(木) 例会》

会員数17名 出席者10名(71.4%)

\*10月7日(木) 例会修正出席率 78.6%

会員数17名 例会出席者11名/メークアップ0名

## 幹事報告

幹事 表 孝典君

◎次週(11/18)の例会は、公休日です。

◎11/25(木)はPR例会です。お友達や仕事関係のお友達をご紹介下さい。  
増強にご協力お願い致します。

## 《11月度定例理事会議事録》

日 時 2021年11月4日(木) 例会後

場 所 KKR ホテル大阪5階「橘」

出席者 北井、政岡、阪田、井上、谷口、木戸、表  
(欠席者 田村、小寺)

◎11.12月.1月行事予定

11月4日(木) 定例理事会

11月6日(土) クラブ職業奉仕委員長会議(欠席)

11月18日(木) 公休日

11月25日(木) PR例会

11月29日(月) 国際奉仕活動推進のための

情報交換会(谷口)

12月2日(木) 定例理事会

12月3日(金) 2660地区 地区大会

12月9日(木) 公休日

12月16日(木) 例会・年次総会

12月19日(土) クリスマス家族会(KKR)

12月23日(木) 振替休会

12月30日(木) 冬期休会

1月6日(木) 冬期休会

1月13日(木) 定例理事会・新年会

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122

例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

事務所：〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30

Tel. 0742-55-4869 Fax. 0742-51-1067

E-mail midorirc1126@gmail.com



◎今年度予算案について

事務局の光熱費等について 10,000 円/月を計上することで決定した。

◎クリスマス家族会について

コロナ対策を徹底した上で12月19日(日)を行うことで決定した。

◎国内奉仕 発達障がい児・者親の会(スイミー)お米寄付の件

お米の代わりに現金を寄付することで決定した。

5,000 円×8 ヶ月=40,000 円

クリスマス会費用として=30,000 円

合計 70,000 円を寄付。

◎「日本のロータリー100周年ビジョンレポート2020」について

ロータリーの歴史に学ぶ冊子をパストガバナー3名に郵送する

第 2840 地区パストガバナー本田博己様

第 2620 地区パストガバナー志田洪顯様

第 2680 地区パストガバナー大室儀様

◎マイロータリー登録について

未登録の会員については、幹事の表がフリーメールアドレスを作成後、登録作業を行うことで決定

◎その他

PR 例会は行うことで決定した

## 会長の時間

会長 北井孝彦君

皆さんこんばんは。

昨日は、11月3日「文化の日」祝日でした。

文化の日...?何の意味があるかわかりますか?

わかりづらいですね。

実は、戦前までは「明治節」と言いました。そうぞ、明治天皇の誕生日でした。75年前、昭和21年政府はこの日を憲法記念日にする予定でした。しかし、GHQは猛烈に反対しました。何故でしょうか。

戦後アメリカは、日本が二度と立ち向かってこないように弱体化を図るため日本の分析を徹底して行い

ました。日本が強いのは天皇への忠誠心に起因していると判断しました。それで、天皇をなるべく国民から遠ざけ、忘れさせるため、愛国心を持たせないため「文化の日」と名付けられました。

明治天皇は、和歌がお好きで生涯10万首の御製を残されたといひます。次に私が好きな明治天皇の御製を記します。

「あさみどり澄みわたりたる大空の廣きをおのが心ともがな」

浅緑色に澄み渡りたる此の大空の如く、宏々としたのを自分の心としたいものだ。

「さしのぼる朝日のごとくさはやかにもたまほしきは心なりけり」

昇る朝日のような爽やかな心を持ちたいものだ。

「冬ふかき池のなかにもほとぼしる水ひとすぢはこほらざりけり」

池の全面が凍ってしまうような真冬の寒さでも、ほとぼしる水は凍らない、と詠まれている。

3番目のお歌の意味は次のような背景があつてお詠みになつたと思われます。

明治というのは西欧の技術文明が怒濤のように押し寄せ、日本が国のあり方を見失いかけていた時代でもあつた。

明治22年、『日本』という新聞を発刊した陸羯南は、その創刊の辞に当時の様相をこう述べている。

「近世の日本は其の本領を失ひ自ら固有の事物を棄つるの極、殆ど全国民を挙げて泰西(西洋)に帰化せんとし、日本と名づくる此の島地は漸く將に輿地図(世界地図)の上にただ空名を懸くるのみならんとす」

全国民が西洋に心を奪われ浮き足立っている様子が、端的に記されている。こういう潮流の中で明治天皇の御製は詠まれたのである。

どのような時代の変遷に遭おうとも、日本は日本を日本たらしめているものを見失ってはならぬ



明治天皇が抱かれた一（ひとすぢ）とは、これではなかったでしょうか。

### 卓話抄録

阪田克英君

クラブ社会奉仕委員長会議出席のご報告  
役割：①ローターアクト事業の協力、②地区内のクラブ社会奉仕事業への協力、③受け継ぐバトンと渡していくバトンは同じ。  
ロータリーらしい社会奉仕とは、今後みどりロータリークラブで考えていきたい。  
コロナ禍で考える社会奉仕の実践。  
親睦こそが社会奉仕の根幹。2月合同献血会開催への出席要請。薬物濫用防止運動への協力をお願い。

### ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

- ◎随分涼しくなりました。何をするにも良い季節ですね。井上善博君  
◎あと二ヶ月ですね。島 啓介君

(11/4) 合計 17,000 円 今年度累計 133,000 円



### 本日のお祝い

会員交流委員会

- ◎会員のお誕生日 11月19日 木戸章由君  
◎奥様のお誕生日 11月23日 政岡喜美恵様

## パンデミック（その5）ポリオ

ポリオは RI が世界のロータリアンから多額の寄付を集めて、ロータリー財団、WHO、米国 CDC、UNICEF が共同して根絶計画を立て、更にビル&メリンダ・ゲイツ財団が加わって世界規模の活動を展開したために、地球上から撲滅達成の日が近いと思わせた。しかしながら、いつまで待っても機関紙に「目標達成!」、「活動終了!」の文字が現れず、逆に最近では“ポリオ”の文字がロータリーから消えつつあるように見える。これはどうしたことなのか？ ロータリーは確かな情報をロータリアンに伝える義務があると考えるし、ロータリーの役員である地区ガバナーも疑問に答える責任があると思われる。

ポリオは、ウイルス感染によって生じる運動神経障害で、正式名を Polyomyelitis(ポリオミエリ(ライ)テイス)という。日本語では「急性灰白髄炎」と言っており、小児に運動機能障害が発生することから、「小児麻痺」と呼ばれていた。

#### 【原因と発病】

エンテロウイルス属のポリオウイルスによる経口感染症である。水洗トイレが完備されていなかった時代には、先進国、後進国を問わず、世界中で毎年30万人の子供達が“小児麻痺”に侵されていた。

口から侵入したウイルスは腸内で大量に増殖し、大便と共に1～2カ月にわたって排泄される。新生児は胎児期に母親から受け取った免疫抗体によって、ポリ

オへの抵抗力をもっているが、年齢と共に免疫力が低下し、幼児期には不潔な生活環境の中で、ほぼ全例がポリオに感染するのが普通であった。

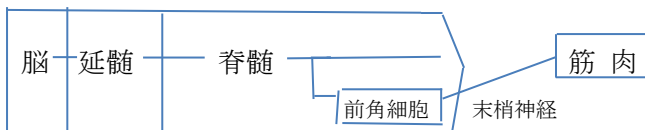
感染の多くは不顕性感染であるが、約1%の子供でウイルスが血液中に移行し、中枢神経系の障害を発生することがある。

【脊髄運動神経】 脊髄の断面は中央に太いH型の灰白色の部分があり、ここは脊髄神経が束になって走行するので、灰白髄は神経線維の色である。左右のHの前方先端部（前角部）に、“前角細胞”があり、これが脳神経からの指令を末梢神経へ伝達する中継点になっている（下図）。脊髄から出る末梢運動神経は、前角細胞の一部が伸びたもので



ある。

【小児麻痺】 ポリオウイルスは脊髄前角細胞に入ってこれを破壊するために、その神経支配下の運動機能がマヒする。即ち、神経伝達の中継点が破壊されるので、いくら待っても運動機能は回復しない。



ポリオ障害が胸部で発生すると、呼吸筋が麻痺し、呼吸補助装置（かつての鉄の肺、現在は簡易装置が開発されている）なしには生きられない。

胸部以下では手・足の多くは足の運動が障害され、その1/2の頻度で永久的な麻痺が発生する。小児に発症するので小児麻痺と言われた。国内ではかつて、複数のクラスから成る小学校の1学年に一人か二人の小児麻痺児童がいるのが普通であった。

### 【ポリオワクチン】

1952～53年、英国でポリオウイルスが原因とされる病気が93,000件発生したため、この伝染病の研究に数百万ドルが投資された。

【ソークの不活化ワクチン】 多くの研究の中で、効果的なポリオワクチンの開発に成功したのは、ピッツバーク大学のジョナス・ソークだった（1953年に米国医師会雑誌(JAMA)に発表）。ワクチンは死滅させた（不活化）ポリオウイルスで、注射で投与して、免疫を誘導するが発病させることはない。

ソークワクチンの治験は歴史上、最大の医療実験とされている。当初、ヴァージニア州の小学生を対象として始められたが、最終的にはメイン州からカルフォルニア州に及ぶ44州、1,800万人の子供達が参加するという大規模な治験になった。その結果、90%を超える予防効果により1955年には予防接種としての広く採用されることになった。

【セービンの経口生ワクチン】 ヒト病原ウイルスの培養が試験管の中で成功すると、1930年以降、ポリオウイルスの培養も行われるようになり、いくつかのグループが経口ワクチンの研究を行っていた。そのうちの 하나가アルバート・セービンらのグループで、人の体温より低い温度で培養されたウイルスのゲノム内で突然変異が自然に誘発されて、ウイルスが弱毒化されたのである。

1963年に生ポリオワクチンが認可され、米国と世界の多くの国においてポリオの伝染の状況に適したワクチンの選択が可能になり、一時的には生ワクチンが主流となった時期があった。

### 【生ワクチン由来のポリオ発生】

経口生ワクチンが世界で用いられるようになったとき、それを服用している子供達の世界（エジプト、フィリピンなど）からポリオの集団発生が起こった。詳細な検討の結果、それは生ワクチンで投与された生きた弱毒ポリオウイルスの先祖返り（変異、強毒化）によるものだと思われた。これは生ワクチンが製造されるようになった当初から、一部の学者が指摘していたことであったが、1990年代末には、米国では生ワクチンに由来するポリオの発症が、自然（野生株による）ポリオよりも多くなった。

### 【歴史】

1994年には南北アメリカで野生ポリオ根絶が宣言され、2000年に入るとオーストラリア、中国でも根絶とされた。このため、米国では2000年に、英国でも2004年に経口生ワクチンの使用が中止され、初めから注射（不活化）ワクチンを使用していた国と、途中から注射ワクチンへ転向した国とを合わせて、先進国ではヨーロッパ各国、米国、カナダ、ブラジル、ロシア、南ア、オーストラリア、ニュージーランド、韓国に及ぶ（6,8）。

### 【我が国の歴史】

日本では1910年より凡そ10年毎に小児麻痺の大流行が起こっている。1960年には全国で5,606人と、いう最大規模の患者発生を見て、関係者が



神経をとがらせていた。翌 1961 年春に九州で再び感染爆発の兆しが見えたため、第二次池田内閣の厚生大臣であった吉井喜実が自民党の反対を抑えて、6 月にソ連（およびカナダ）からの生ワクチンの緊急輸入を決定。7 月には NHK テレビの高橋敬三司会者が生ワクチンを飲む姿が放映され、また NHK 放送記者の上田哲（後に国会議員）がポリオ根絶キャンペーンの中心人物となった。

世界に先駆けて徹底した全国一斉投与を行った結果、ポリオ患者数は 1963 年には 100 人以下に激減し、1981 年以降は野生ウイルスによるポリオの集団発生を見ていない。

一方、生ワクチンを使用してきたわが国では、深刻な問題を抱えてきた。

厚労省は正確な情報開示を行っていないが、生ワクチン由来のポリオ発症例が 200 症例以上に達するという報告(8)があり、平成元年から 20 年までの間に 80 症例に発生したという当時の福田総理の国会答弁が残されている。そして生ワクチンを飲んでいない子供（大人も含まれる）の生ワクチン由来のポリオ発症例が 2000 年までに 16 症例、(厚生省(6))、2005～10 年の 5 年間に 6 症例（ポリオの会(8)）記録されている。最近では生ワクチンを飲ませた子供の便の世話をしていた母親がポリオになった（小児期にワクチンを飲んでいなかった）という神戸の例が報道された。

このとき 2660 地区はテレビ大阪とタイアップしてポリオキャンペーン(4)を展開したし、機関紙「ロータリーの友」誌上には、「あと一歩!」「最後の一押しを!」といった文字が並んでいた(1.2)が、つぎの一歩が踏み出せなかった。

この頃、私（山片）は 2660 地区のポリオ対策委員会の委員であったが、この委員会は委員長以下全員がポリオ、ポリオウイルス、世界の情勢に関して全くの素人で——それは仕方ないことではあるが、集会のテーマは“募金”だけであった。ロータリーが世界的にポリオ対策に取り組んでいる以上は、ロータリアンとしてポリオに関する最低限の知識を持

ち、世界の情勢を知るべきであるという私の主張は、殆ど取り上げられることがなかった(10, 11,13)。

厚労省は周囲の声に耳を傾けることなく、生ワクチンの使用を続けていたので、生ワクチン製造メーカーと厚労省役人との癒着発言が内部から飛び出すほどであった。また、小児科医の個人輸入による注射ワクチンを希望する人が増えて話題になった……このような状況の中で、2012 年 4 月、厚労省の薬事・食品衛生審議会・医薬品第二部会が、不活化ワクチンの一部について承認の意向を示し、同年 11 月から 4 種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ）が導入された(7)。

我が国ではポリオに注射ワクチンを導入するのに、欧米から 10 年以上遅れたのである。

#### 【ロータリーのポリオ撲滅運動】

1988 年に RI(ロータリー財団)は、WHO、UNICEF、米国 CDC と共に「世界のポリオ撲滅計画」をスタートさせた。その計画は次の通りであった：

2002 年 野生ウイルスによるポリオ発生を 0 にする

2005 年 世界レベルのポリオ根絶宣言

2010 年 「生ワクチン」投与の終了

この計画の遂行に当初の予定以上の資金が必要とされたときに、ビル&メリнда・ゲイツ財団が加わって、計画進行の期待が膨らんだ。しかしポリオ発症例数は、2010 年に 1349 例まで減少したが、根絶宣言には遠く及ばず、その後 2012 年には 223 例、2014 年は 359 例、2016 年は 37 例にまで減少したが、なお現在、根絶には至っていない。

近年、ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタンの 2 か国のみとなったが、政情不安、地域紛争などによる難民などの人の移動により、感染地域の拡大、感染者の拡散傾向が見られる。

米国医師会は、RI を含む多機関共同のポリオ撲滅作戦は既に破綻したと判断(5)しており、WHO も徐々にポリオ対策をそれぞれの国の国家事業に移



して、現在の大規模事業から手を抜く算段を進めているとされている。

### 【ポストポリオ症候群】

小児期にポリオを発症し松葉杖で社会生活を送っていた子供が、大人になってから筋麻痺の部位が広がったり、状態が悪化して車椅子生活を余儀なくされるといった例が、ポリオ感染の40～50%に起こってくる。これを「ポストポリオ症候群」(3)という。

萎縮筋から神経再生誘導物質が産生され、長期間にわたって神経再生を促すのであるが、ウイルスによって前角細胞が破壊されたポリオでは神経再生が起こらない。逆に長期間神経再生への刺激を受けた骨髄では、破壊された反対側や近傍の前角細胞が反応して神経芽をつくりだし、これが正常神経の機能を妨害するようになる。この機序にはポリオウイルスは全く関与していない。しかしポリオ発症者において、二度目の神経－筋麻痺という痛ましい障害が発生するという現実を知っておかねばならない。ワクチン由来の“薬害ポリオ”でも同じ現象が起こるからである。

なお、「ポストポリオ症候群」に関する The Rotarian 誌から「ロータリーの友」誌への翻訳には、多くの問題が発生(3,9)したので、問題指摘と機関紙再掲載については、別の機会に触れることにする。

#### 【参考資料】

- (1)ロータリアンのためのポリオプラスの「プラス」入門。  
ロータリーの友、平成23年11月号。
- (2)ゴールまであと数インチ・・・最後の一押しを！  
ロータリーの友、平成22年3月号。
- (3)ポリオの第二の行為。ロータリーの友、平成22年11月号。
- (4)感染症ポリオ 残り1%の闘い。テレビ大阪特別番組。
- (5)ポリオ：最終段階を迎えた根絶作戦の難題。JAMA(米国医師会雑誌)日本語版、2002年2月号。
- (6)ポリオとポリオワクチンの基礎知識。厚生労働省ホームページ、2011年。

(7)ポリオワクチンを巡る最近の状況と我が国の将来。公衆衛生審議会感染症部会ホームページ、2012年。

(8)ポリオの会ホームページ、2012年。

(9)ロータリーの友事務所 渡辺誠二所長、二神典子編集長宛書状(クラブ会長松浦利英より)。2012年11月。

(10)2690地区 鳥居滋 PDG への要望書

(11)2660地区 片山一步広報委員長への要望書。

(12)本当にこれでよいのか——ポリオ対策の実態。当クラブ週報卓話記事。

(13)2660地区 岡部泰鑑 PDG への質問状：ロータリーのポリオ撲滅活動について。2012年4月。

◇ ◇ ◇

疾病の根絶に成功した“天然痘”では、宿主＝人間の免疫力を高めて感染を防止した結果、ウイルスの生存ができなくなって消滅した。しかしポリオの場合、ワクチンとして生きた弱毒ウイルスを投与しているので、そのウイルスが人体の中で繁殖・伝播していく。言い換えると、経口生ワクの投与は、かつての強毒ポリオウイルスを弱毒ウイルスに置き換えることに他ならない。その過程でウイルスの先祖がえり(強毒化＝変異)を起こすものが現れ、集団感染を起こすことがあるので、それを阻止するための方策が取られている：

①生ワクの地域一斉投与\*

②注射(不活化)ワクチンの使用(先進国)

\*ポリオに対する免疫をもたない子供が毎年生まれてくるので、ワクチンの投与を止めることができない。即ち、世界の現状は、ロータリーがポリオ問題から黙って手を引くことが許されなくなっている。

(山片重房)

## PR例会を成功させよう！

日時：11月25日(木)

ご友人・取引先の方々を是非お連れ下さい。